2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　デリカフーズホールディングス株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　3392　　URL　https://www.delica.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　大崎　善保
問合せ先責任者　（役職名）　取締役CFO　　（氏名）　仲山　紺之　　TEL　03-3858-1037
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（ アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	31,753	3.1	642	△47.7	635	△49.5	480	△42.9
2026年３月期中間期	30,810	9.8	1,228	―	1,258	―	842	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　521百万円（△40.9%）　2026年３月期中間期　881百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	29.59	―
2026年３月期中間期	51.93	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	29,807	10,581	35.5
2026年３月期	29,514	10,433	35.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　10,575百万円　　2026年３月期　10,433百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	25.00	25.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	2.1	1,800	△14.7	1,850	△14.9	1,300	△14.2	80.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　―社（社名）　　、　除外　　１社　（社名）　デリカフーズ長崎株式会社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	16,372,000株	2026年３月期	16,372,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	97,278株	2026年３月期	128,328株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	16,252,156株	2026年３月期中間期	16,214,400株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……10
（セグメント情報等の注記） ……11
（企業結合等関係） ……12
３．その他 ……13
（１）最近における四半期毎の業績推移 ……13
（２）部門別売上高の状況 ……13

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費と設備投資が底堅く推移し、全体としては緩やかな回復基調を維持した一方、物価高による実質購買力の低下や、中東情勢をはじめとする地政学リスク、相次ぐ自然災害などの影響もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客である外食産業でも、堅調なインバウンド消費の取り込みや価格改定、高付加価値商品の投入などによる客単価上昇が寄与し、売上高は総じて増加基調にありました。一方で、消費者の節約志向は根強く、客数の回復は業態や企業ごとにばらつきがみられました。加えて、慢性的な人手不足、物流費・人件費の継続的な上昇、消費税率見直しが行われた場合の業績悪化懸念など、経営環境は予断を許さない状況が続いています。

こうしたなか、当社グループは、青果物の加工・流通分野において野菜の価値向上を追求し、未来に向けた「持続可能な農業」と「食を通じた健康増進」を実現する付加価値創造企業として、各種施策を進めております。2024年５月に発表いたしました「第五次中期経営計画 keep on trying 2027」の最終年度に当たる本年度につきましては、「各種ポートフォリオの変革」、「青果物サプライチェーンの構造変革」、「研究部門・開発部門への投資拡大」の基本方針のもと、計画達成に向けた諸施策を着実に推し進めております。

当中間連結会計期間においては、主業である青果物流通事業を担うデリカフーズ㈱において、取引採算を踏まえた取引条件について丁寧にご説明しつつ、新たなお客様ニーズに対応するための積極的な提案を進めたほか、物流子会社であるエフエスロジスティックス㈱におけるグループ外売上の獲得、一般消費者向けミールキットを手掛ける楽彩㈱によるＢｔｏＣ事業の拡充などを着実に進めてまいりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高は31,753百万円（前年同期比3.1％増）と、伸び率は若干鈍化傾向にあるものの、中間連結会計期間としての過去最高を更新しました。

一方、損益面では、長引く天候不順（台風、長雨等）による各種野菜の生育不良・品質不良や、地震等の影響で価格が高騰したため、売上総利益率が想定以上に大きく下振れました。また販管費においても、正社員・パート従業員の処遇見直し、物流部門の拠点新設（東海マザーセンター、三郷サプライセンター）に伴う経費増が先行的に発生いたしました。加えて、中東情勢の影響による物流費、燃料費、資材費などの高騰も利益の圧迫要因となりました。以上から、当中間連結会計期間の営業利益は642百万円（前年同期比47.7％減）、経常利益は635百万円（前年同期比49.5％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は480百万円（前年同期比42.9％減）と、価格転嫁タイミングのずれによる増益効果があった前年同期との対比では、いずれも大幅な減益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、12,934百万円となりました。これは、売掛金が106百万円減少したものの、現金及び預金が491百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、16,872百万円となりました。これは、主として投資その他の資産の「その他」が96百万円増加したものの、有形固定資産の建物及び構築物が222百万円、「その他」が108百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、29,807百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、10,495百万円となりました。これは、主として買掛金が274百万円増加したものの、未払金が813百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.4%増加し、8,730百万円となりました。これは、主として転換社債型新株予約権付社債が750百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、19,226百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、10,581百万円となりました。これは、主として利益剰余金が74百万円、その他有価証券評価差額金が38百万円増加したことなどによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、売上高の伸び率鈍化基調に加え、上期から継続する野菜価格高騰の影響、将来に向けた新たな成長戦略投資の先行的な発生などが見込まれることを踏まえ、 通期連結業績予想を下方修正しております。詳細につきましては、2026年10月14日に発表した「2027年３月期第２四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しなので、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,339,295	5,830,953
売掛金	6,190,504	6,083,934
商品及び製品	370,105	465,505
仕掛品	17,067	19,483
原材料及び貯蔵品	169,233	207,885
その他	319,025	330,943
貸倒引当金	△4,088	△3,776
流動資産合計	12,401,143	12,934,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,606,344	8,384,311
土地	3,917,960	3,917,960
その他（純額）	2,992,821	2,884,655
有形固定資産合計	15,517,126	15,186,927
無形固定資産		
その他	50,272	43,150
無形固定資産合計	50,272	43,150
投資その他の資産		
その他	1,554,241	1,650,519
貸倒引当金	△7,937	△7,937
投資その他の資産合計	1,546,303	1,642,581
固定資産合計	17,113,702	16,872,660
資産合計	29,514,846	29,807,590

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,008,706	3,282,927
短期借入金	2,200,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,686,651	1,775,019
未払法人税等	672,033	226,916
未払金	3,024,876	2,211,609
賞与引当金	222,091	174,235
役員賞与引当金	23,953	―
事業構造改革費用引当金	―	3,157
その他	264,333	471,508
流動負債合計	11,102,645	10,495,373
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	―	750,000
長期借入金	6,829,387	6,830,155
退職給付に係る負債	236,834	251,774
資産除去債務	651,249	655,529
その他	260,968	243,278
固定負債合計	7,978,439	8,730,737
負債合計	19,081,085	19,226,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,363	1,772,363
資本剰余金	2,595,360	2,608,746
利益剰余金	5,775,191	5,849,951
自己株式	△54,780	△41,525
株主資本合計	10,088,134	10,189,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,019	387,676
退職給付に係る調整累計額	△3,393	△1,691
その他の包括利益累計額合計	345,626	385,985
新株予約権	―	5,959
純資産合計	10,433,760	10,581,479
負債純資産合計	29,514,846	29,807,590

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	30,810,188	31,753,989
売上原価	22,616,986	23,663,599
売上総利益	8,193,201	8,090,389
販売費及び一般管理費	6,964,378	7,447,853
営業利益	1,228,823	642,536
営業外収益		
受取利息	5,706	8,140
受取配当金	4,291	4,905
物品売却益	15,905	15,981
受取賃貸料	27,081	4,242
助成金収入	9,906	9,977
販売奨励金	6,274	7,221
その他	18,220	20,755
営業外収益合計	87,386	71,225
営業外費用		
支払利息	51,361	68,408
社債発行費	—	7,875
その他	6,195	1,632
営業外費用合計	57,556	77,916
経常利益	1,258,654	635,844
特別利益		
固定資産売却益	1,025	2,384
投資有価証券売却益	—	24,900
補助金収入	—	10,000
特別利益合計	1,025	37,285
特別損失		
固定資産除却損	0	315
固定資産圧縮損	—	9,852
減損損失	—	1,904
事業構造改革費用	—	3,157
特別損失合計	0	15,229
税金等調整前中間純利益	1,259,679	657,901
法人税等	417,618	177,049
中間純利益	842,060	480,851
親会社株主に帰属する中間純利益	842,060	480,851

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	842,060	480,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,788	38,656
退職給付に係る調整額	△13,115	1,702
その他の包括利益合計	39,673	40,358
中間包括利益	881,733	521,210
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	881,733	521,210
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,259,679	657,901
減価償却費	609,224	674,057
減損損失	―	1,904
引当金の増減額（△は減少）	19,919	△45,011
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	―	△23,953
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△10,096	17,466
受取利息及び受取配当金	△9,998	△13,046
支払利息	51,361	68,408
助成金収入	△9,906	△9,977
補助金収入	―	△10,000
投資有価証券売却損益（△は益）	―	△24,900
固定資産除却損	0	315
固定資産売却損益（△は益）	△1,025	△2,384
固定資産圧縮損	―	9,852
売上債権の増減額（△は増加）	318,326	106,778
棚卸資産の増減額（△は増加）	△60,074	△136,468
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,590	274,067
未払金の増減額（△は減少）	△325,605	△130,542
その他	70,306	186,538
小計	1,905,521	1,601,004
利息及び配当金の受取額	9,998	13,046
利息の支払額	△51,361	△68,408
補助金の受取額	―	10,000
助成金の受取額	9,906	9,977
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△95,936	△646,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,778,129	919,433
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△240,000	―
定期預金の払戻による収入	―	200,000
有形固定資産の取得による支出	△523,230	△937,745
有形固定資産の売却による収入	1,450	2,385
無形固定資産の取得による支出	△4,128	△570
投資有価証券の取得による支出	△8,090	△3,630
投資有価証券の売却による収入	―	35,000
貸付けによる支出	△911	△873
貸付金の回収による収入	5,464	4,978
敷金及び保証金の差入による支出	△34,895	△53,866
その他	△1,144	△1,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△805,486	△755,518

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,550,000	150,000
長期借入れによる収入	400,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△790,581	△810,864
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	―	742,125
新株予約権の発行による収入	―	5,959
リース債務の返済による支出	△54,492	△54,712
配当金の支払額	△193,437	△404,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	911,489	527,742
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,884,131	691,657
現金及び現金同等物の期首残高	3,533,832	4,914,432
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,417,964	5,606,089

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額(注)1	中間連結損益計算書計上額(注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・分析事業	持株会社	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	30,229,824	554,704	25,659	―	30,810,188	―	30,810,188
外部顧客への売上高	30,229,824	554,704	25,659	―	30,810,188	―	30,810,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	241	2,087,013	12,303	648,487	2,748,045	△2,748,045	―
計	30,230,065	2,641,718	37,962	648,487	33,558,234	△2,748,045	30,810,188
セグメント利益又は損失（△）	1,063,827	71,070	△7,210	245,848	1,373,536	△144,712	1,228,823

（注）１ セグメント利益又は損失（△）の調整額△144,712千円は、セグメント間取引消去であります。
　　２ セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額(注)1	中間連結損益計算書計上額(注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・分析事業	持株会社	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	30,997,960	736,119	19,909	―	31,753,989	―	31,753,989
外部顧客への売上高	30,997,960	736,119	19,909	―	31,753,989	―	31,753,989
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,270	2,231,917	28,506	909,302	3,211,996	△3,211,996	―
計	31,040,230	2,968,036	48,415	909,302	34,965,985	△3,211,996	31,753,989
セグメント利益又は損失（△）	623,641	229	△1,783	455,951	1,078,038	△435,502	642,536

（注）１ セグメント利益又は損失（△）の調整額△435,502千円は、セグメント間取引消去であります。
　　２ セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の開示方法の変更

当中間連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標(経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標など)を経常利益ベースから営業利益ベースの数値に変更したことに伴い、報告セグメントの利益又は損失も、経常利益ベースから営業利益ベースに変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の開示方法に基づいております。

（企業結合等関係）

（共通支配下の取引等）

（連結子会社間の吸収合併）

当社は、2026年１月９日開催の取締役会決議に基づき、2026年４月１日付で、当社連結子会社であるデリカフーズ㈱を存続会社とし、当社連結子会社であるデリカフーズ長崎㈱を消滅会社とする吸収合併を実施いたしました。

（１）取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称　　デリカフーズ㈱

事業の内容　　青果物の加工及び販売

被結合企業の名称　デリカフーズ長崎㈱

事業の内容　　たれ、ソース類の製造

② 企業結合日（効力発生日）

2026年４月１日

③ 企業結合の法的形式

デリカフーズ㈱を存続会社とし、デリカフーズ長崎㈱を消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

デリカフーズ㈱

⑤ その他取引の概要に関する事項

デリカフーズ長崎㈱の取扱品目、販売先が設立当初に比して大きく増加し、事業分野も急速に拡がりを見せているなか、デリカフーズ㈱による営業面、商品開発面、生産管理面等における連携強化により、グループシナジー発揮の極大化を図ることを目的として、両社を合併することといたしました。

（２）実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

３．その他

（１）最近における四半期毎の業績推移

2027年３月期（連結）　（単位：千円）

	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期
売上高	15,451,468	16,302,520		
営業利益	566,316	76,219		
経常利益	556,174	79,670		
親会社株主に帰属する四半期純利益	409,620	71,231		
１株当たり四半期純利益	25.22円	4.38円		
総資産	29,482,164	29,807,590		
純資産	10,434,826	10,581,479		
１株当たり純資産	642.03円	649.81円		

2026年３月期（連結）　（単位：千円）

	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期
売上高	15,154,190	15,655,998	16,041,001	15,367,967
営業利益	941,945	286,878	481,331	399,503
経常利益	955,399	303,254	492,455	421,584
親会社株主に帰属する四半期純利益	647,329	194,731	282,255	391,157
１株当たり四半期純利益	39.95円	12.00円	17.35円	23.99円
総資産	28,263,621	28,664,036	29,389,507	29,514,846
純資産	9,506,317	9,741,844	10,033,650	10,433,760
１株当たり純資産	586.69円	599.73円	617.70円	642.33円

（２）部門別売上高の状況

	2026年３月期 中間期 （自 2025年４月１日） （至 2025年９月30日）		2027年３月期 中間期 （自 2026年４月１日） （至 2026年９月30日）		比較増減	比較増減
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	(千円)	(%)
カット野菜部門	13,304,182	43.2	14,011,355	44.1	707,173	5.3
ホール野菜部門	12,274,358	39.8	12,198,391	38.4	△75,966	△0.6
その他部門	5,231,648	17.0	5,544,242	17.5	312,594	6.0
合　　計	30,810,188	100.0	31,753,989	100.0	943,800	3.1